

単元名 わけを はなそう

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くことができる。
 (2) 相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えることができる。
 (3) 話す事柄の順序を考えながら、気持ちとわけを話そうとする。

標準的な展開例

01010108_001

【教材名】わけを はなそう (上 P. 48～P. 49)

【準備等】挿絵を拡大したもの

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 教科書 (P. 48) の話型を確認し、教科書 (P. 49) の挿絵を見て、顔の表情と出来事から、女の子の気持ちやそのわけを考える。</p> <p>★気持ちやわけを話そう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○顔の表情から、どんな気持ちかを考え、「わたしは□です。」に気持ちを表す言葉を考える。 ○「どうしてかという、□だからです。」に理由となる出来事を入れる。 ○気持ちとわけを話す練習をする。 <p>2 自分が経験したことを、学んだ話型を使って話す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教科書 (P. 49) の挿絵や教師の用意した絵等をもとに、ペアで学んだ話型を使って伝え合う。 ○自分で経験したことを、学んだ話型を使って話す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・挿絵を参考に、なぜその気持ちなのかも考えさせ、理由につなげる。 ・「うれしい」などの気持ちを表現する言葉を考えさせる。 ・想像を広げて、楽しく活動できるようにさせる。 <p>【評】気持ちやわけを話す活動を通して、言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付く「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで交流した後、グループや全体で発表させる。 ・日直などのスピーチで活用し、継続的に練習させてもよい。 <p>【評】友達との交流を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】